



# 町長日誌 No.37

町長日誌の第37号です。町長が日頃町民の皆さんと話し合ったことや色々な出来事を町長自ら書いたものです。町民皆さんのご意見・ご要望・ご感想をお待ちしています。

**8月18日(金) AM8:00**

いやあ、昨夜の蒸し暑かった事と言ったら、一体どうなっているのでしょうか？ 台風10号が九州に上陸して梅雨前線を刺激しているため、突然の雷雨や90%近い湿度になったりと皆さんお体の調子は如何でしょうか。

夜中0時30分頃震度2の地震がありました。皆さん気付かれましたか？ 私はあまりにも暑いので居間で扇風機を回しながら寝ていると、体がゴムのようにグニャグニャと波打つように感じられたのですが、何せ、夢なのかどうか分からず朝、母に「夕べ地震なかった？」と聞いたところ、あっさりと「なに、寝ぼけているんだか」と言われ落ち込んでいましたが、役場に来て見ると地震計にははっきりと記録されていました。ちなみに役場にはデジタル表示で時間と震度が表示される地震計が設置されています。世間では草薙剛主演の映画『日本沈没』が話題を呼んでいます。地震・風水害などの災害が今年も九州等で多発しています。特に9月は台風の季節です。今一度、家の周りの状況や非難場所そして懐中電灯やロウソクなどの点検・準備を行っててください。

**7月25日(火)**

今日は9時から月例の課長等会議があるのですが、その少し前に興部高校の佐々木先生からメールが入りました。なんと3年生の栗邊雄大君が重量挙げの高校全国大会で見事優勝したというではありませんか。高校創立以来の快挙です。体重52kg級で高校日本一になったのです。栗邊君は秋里で酪農を営む栗邊敏文さん鶴見さんのご長男で、私も子供の頃から良く知っていて、どうみても165kgのバーベルを持ち上げるようには見えない(失礼)のですが、素質を見抜いた佐々木先生と厳しい練習に耐え本番で底力を出した雄大君に脱帽です。団体戦でも5位入賞と言うことで、本当におめでとございました。

**7月31日(月)**

救急体制について町民の方から問い合わせがありましたので、消防と協議を致しました。内容は『救急電話』についてです。実はAさん(仮称) 宅でお父さんの具合が悪くなり夜中に119番に電話したのですが、電話に出た職員がまるで場所が分からないような対応であったということです。Aさん宅は農家で名前も他にはあまり無いし過去に何度か救急車で搬送されたこともあるのにどうしたことだ？とお怒りで、第三者を通じてお話がありました。勿論、連絡から現地到着までの時間は正常ですし、現場での処置も問題なくAさんもお元気なのですが、ここで問題なのが『電話』なのです。Aさんのご家族は自宅で通報したのですが、実はこの時、携帯電話で119番を呼びました。携帯の場合、以前は北見消防本部に繋がったのですが、昨年11月16日から興部支署を管轄する紋別地区消防本部(紋別市)に繋がるようになっています。Aさん宅では紋別に繋がるとは知らずに携帯で掛けたので、紋別から興部支署に転送され興部の職員が出るため、Aさんのご家族は2回も住所を言わねばならず誤解を生じたわけですね。ご家庭の一般電話は直接、興部支署に繋がりますが、携帯電話は紋別本部に一旦繋がってから興部支署に転送されますのでご注意ください。

なお、110番については携帯の場合、北見方面本部に繋がります。

駒苦と早実との心打つ決勝戦が終わり、今年の夏が終わったなと言う気がしますが、この蒸し暑さは何なのでしょう。もう一つ熱病のように騒がれた『靖国問題』や自民党総裁選もさわやかな甲子園球児の前にはトーンダウンです。

しかし、ロシアの警備艇に発砲され人命を奪われても何も出来ず、戦後61年経っても未だに戦地跡に遺骨が放置されているのに国として収集しようもしない。だが、お参りだけはする。なんとも言いようの無い気持ちで一杯になります。国も町も「住民の生命財産を護るのが最大の仕事」を改めて肝に銘じて町政にあたりたいと思っています。夏バテは、涼しくなった頃が要注意！ 元気に乗り切りましょう。では、また。



町長のメールアドレスは、[mayor@town.okoppe.hokkaido.jp](mailto:mayor@town.okoppe.hokkaido.jp)です。

お便りをいただく場合は、適当な便箋等を封筒など(使い古しのもので構いません)に入れ、封をして、町役場窓口か、お知り合いの町職員にお渡し願います。町長のみ開封とし、お返事をさせていただきます。不明な点は、総務課総務厚生係まで。TEL 82・2131です。